

1. 大学院博士課程在籍又は進学予定であれば、必ず申請を検討しよう。

「特別研究員」制度は大学院博士課程在学者及び大学院博士課程修了者等で、優れた研究能力を有し、大学その他の**研究機関で研究に専念することを希望する者を「特別研究員」に採用し、研究奨励金を支給する制度**です。

特別研究員として採用されると、研究奨励金（生活費）の支給の他、**特別研究員奨励費（研究費）**の交付も受けることができるため、**安定した研究活動**を遂行することができます。

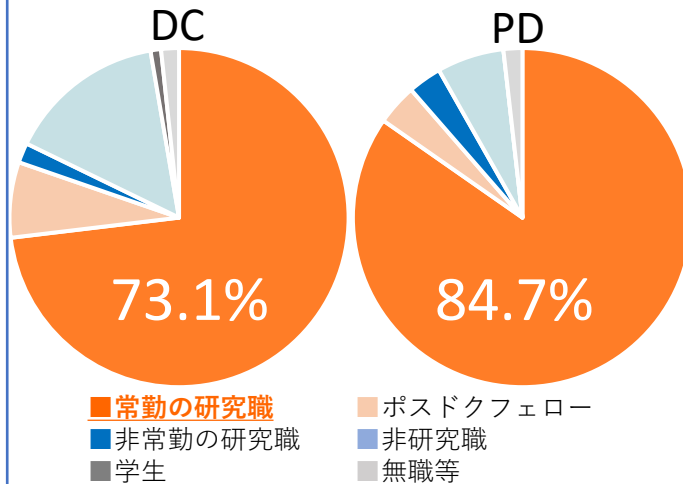
「特別研究員制度」は、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与えることにより、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的としていることから、**研究テーマに対する助成ではなく、将来を担う優れた人材に対する国の投資**であると言えます。

したがって、特別研究員への採用は、国から投資するに値する人材であると認められたことにほかなりません。また、就職に際し、特別研究員としての経歴を履歴書に記載することができるなど**研究者として非常に高いステータスを持つ**制度です。

実際、右の表が示すとおり、特別研究員採用者のうち、その後、「常勤の研究職」として採用されている割合はDCが全体の7割、PDが約8割という結果になっており、**選ばれし若手研究者**といっても過言ではありません。

特別研究員の就職状況調査結果

採用5年経過後就職状況 (日本学術振興会調べ(令和6年4月1日現在))



採用期間、研究奨励金及び研究費

区分	採用期間	研究奨励金 (月額、令和7年度実績)	研究費 (採用期間内総額)
DC1	3年間	200,000円(※1)	450万円以内
DC2	2年間		300万円以内
PD	3年間	362,000円(※2)	450万円以内(※3)
RPD	3年間	362,000円(※2)	450万円以内(※3)

※1 令和8年度採用者から、DC1及びDC2の研究奨励金が、200,000円から227,000円へ増額を予定しています。

※2 東北大学は、日本学術振興会が実施する「研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業」の「雇用制度導入機関」として登録されています。本学を受入研究機関として採用されたPD、RPDは本学の特任研究員（常勤・裁量労働制）として雇用され、研究奨励金と同等の金額に月82,000円を加算し、給与として支給しています。

※3 別途30%の間接経費も措置されます。

2. 特別研究員がどのように選ばれるのかを知ろう。

まずは[審査方針※1](#)を確認しましょう。

< DC1、DC2の場合 >

- 自身の研究課題設定に至る背景が示されており、かつその着想が優れていること。また、研究の方法にオリジナリティがあり、自身の研究課題の今後の展望が示されていること。
- 学術の将来を担う優れた研究者となることが十分期待できること。

※1 https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_houhou.html

次に、誰が特別研究員を選んでいるのかを知る必要があります。

特別研究員事業では、適切な相対評価ができるよう、[書面審査セット※2](#)といういくつかの小区分（5桁のコードで表される区分）のまとまりから構成されるグループ毎に書面審査が行われます。書面審査は、1申請につき、我が国の第一線の研究者で構成される特別研究員等審査会審査委員5人によって二段階での[書面審査※3](#)が行われます。

したがって、まずは、**自身の申請がどの小区分に当たるのかを確認し、また、他のどの小区分の申請書と一緒に審査されるかを確認**しましょう。なお、小区分が複数の審査区分に分かれている場合がありますので、小区分を選択する際には、[審査区分表※4](#)をよく読んで、自身の申請研究課題に最も相応しいと思われるものを選択しましょう。

※2 https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_sinsa-set.html

※3 二段階書面審査とは、一段階目の書面審査において、全ての申請書について申請者の研究能力・将来性等の観点から評価を行い、採用内定数の上位80～120%を「ポードゾーン」として、二段階目の書面審査を行う方式です。

※4 https://www.jsps.go.jp/file/storage/j-pd_2022/examination/2_kubun.pdf

また、必ず[過去の審査委員※5](#)を確認しましょう。そうすると、幅広い分野の申請書と一緒に、幅広い分野の先生に審査されることが分かります。専門分野の研究者だけが理解できるような申請書ではなく、**専門外の研究者にも自身の研究の背景、着想、研究方法、展望等が明快に伝わる分かりやすい申請書の作成**を心がけましょう。また、本事業があくまでも我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的とした制度であることを意識し、**自身がいかに学術の将来を担う優れた研究者になることができるかを幅広い分野の審査委員にアピールする調書の作成**を心がけましょう。

※5 http://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_houhou.html

令和9(2027)年度 DC1書面審査セット (部分抜粋)

審査区分		書面審査セット
化学	41 物理化学、機能物性化学、無機・錯体化学、分析化学、無機材料化学、エネルギー関連化学およびその関連分野	化学1
	物理化学、機能物性化学およびその関連分野	
	32010 基礎物理化学関連	
	32020 機能物性化学関連	
	無機・錯体化学、分析化学およびその関連分野	化学2
	34010 無機・錯体化学関連	
	34020 分析化学関連	
	34030 グリーンサステイナブルケミストリーおよび環境化学関連	
	⋮	⋮
	42 有機化学、高分子、有機材料、生体分子化学およびその関連分野	化学4
有機化学およびその関連分野		
33010 構造有機化学および物理有機化学関連		
...	...	

【補足】特別研究員の各区分別に書面審査セットは異なります。必ず申請する区分の書面審査セットを確認してください。

3. できるだけ、申請までに**自身の強み**となる業績等を作ろう。

申請書には、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保という特別研究員事業の趣旨を踏まえ、研究計画を実行する**研究者としての資質があるかどうかの判断材料**となる「**研究遂行力の自己分析**」欄が設けられています。

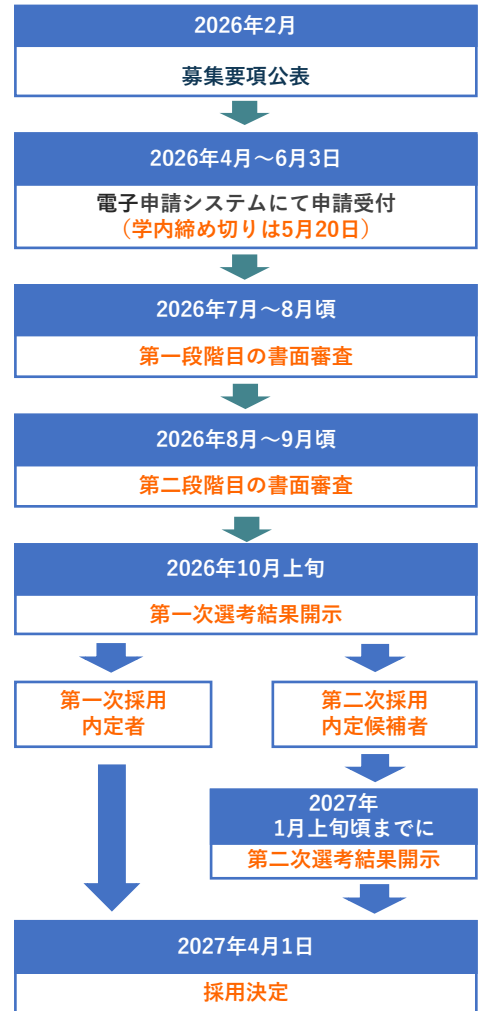
ここで求められているのは、単に「研究業績（論文等の成果物）」を列挙するのではなく、あくまでも**研究者としての自身の強み（主体性、発想力、問題解決力等）を、説得力をもって示すこと**です。その説得力を与える材料として「研究業績」は重要な要素の1つとなります。

したがって、**指導教員に早めに相談**し、研究業績を作るようにしましょう。単に研究業績の数を増やすのではなく、**筆頭著者で論文を書く、査読無よりも査読有の論文を書く、国際学会で発表を行う（筆頭著者として登壇する）**など、評価の高い業績を作ることが重要です。そして、研究者としての自身の強みと研究業績を関連付けて申請書に書けるよう、文章構成を検討しましょう。

研究業績の例

- 学術雑誌等に発表した論文
- 国際会議における発表
- 国内学会・シンポジウム等における発表
- 優れた受賞歴

令和9(2027)年度採用スケジュール (DC)



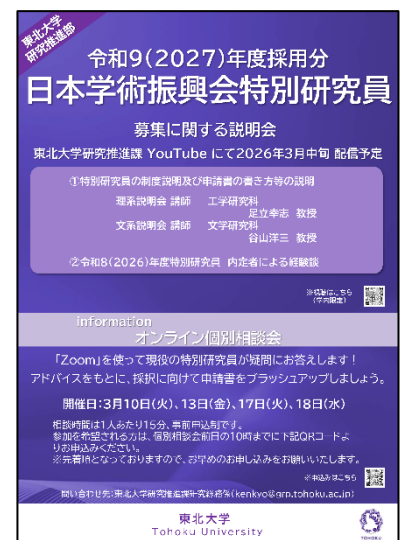
4. 申請書を書くに当たり、**情報**を入手しよう。

指導教員に申請の意思を伝え、業績をつくるよう努めたら、次に「いい申請書」を作成するための情報を入手しましょう。本学では、**特別研究員募集等に関する説明会**のYouTube配信^{*6}や、Zoomを活用した現役の特別研究員との**個別相談会**を開催する他、希望者へ**過年度採用者の申請書閲覧サービス**を実施しています。また、各部署では独自の説明会や支援を行っています（詳細は部署担当事務に確認してください）。このような支援を**積極的に活用し、申請書作成にあたっての有益な情報を入手**しましょう。

そして、指導教員や研究室の先輩など、頼れる方には積極的に相談し過去の申請書を見せてもらいましょう。なお、**採用者一覧**^{*7}で過去の採用課題を確認することができます。近い分野の課題を参考にして研究課題名を見直しましょう。

^{*6} <https://c.bureau.tohoku.ac.jp/kensui-top/3jsps/support/#f1> 【学内限定】

^{*7} https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_saiyoichiran.html



令和9(2027)年度採用分
日本学術振興会特別研究員
募集に関する説明会
東北大学研究推進課 YouTube にて2026年3月中旬 配信予定

①特別研究員の制度説明及び申請書の書き方等の説明
継承説明会 講師 工学研究科 尾立幸志 教授
文系説明会 講師 文学研究科 谷山洋三 教授
※令和8(2026)年度特別研究員 内定者による経験談

Information
オンライン個別相談会
「Zoom」を使って現役の特別研究員が疑問にお答えします！
アドバイスをもとに、採択に向けて申請書をブラッシュアップしましょう。

開催日:3月10日(火)、13日(金)、17日(火)、18日(水)
相談時間は1人あたり15分、先着申込制です。
参加費希望される方は、個別相談会前日の10時までに下記QRコードよりお申込みください。
※先着順となっておりますので、お早めのお申し込みをお願いたします。

お問い合わせ先:東北大学研究推進課研究科係(kenkvo@am.tohoku.ac.jp)

東北大学
Tohoku University

5. 申請書の作成にとりかかろう。

まずは、**研究計画を自らよく構想し、指導教員や研究室の先輩からのアドバイス・議論を経た上で作成する**ことが重要です。申請書の最初の記載項目である「**研究の位置づけ**」では、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯を記載した上で、特別研究員として取り組む研究計画がどのような重要性を持つのかを記載する必要がありますので、しっかりと考えを整理してから作成にとりかかりましょう。そして、作成にあたっては、**自らの文章で作文**し、指導教員や研究室の先輩に確認してもらったうえで、**推敲を重ねる**ことが大変重要です。

また、令和5年度募集分から、特別研究員の申請と同時に**特別研究員奨励費（研究費）**も合わせて申請することとなりました。研究経費を見据えながら、どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入することが重要です。

とはいえ、審査委員は我が国の第一線の研究者であり、多忙を極めている中、多数の申請書を読んで審査をしなければなりませんので、申請書が読まれる時間は限られます。**いかに読んでもらえる申請書にするか**がポイントです。

申請内容ファイル等を電子申請システムに取り込む際の注意点をよく確認して記載してください。

特に、**自身の研究内容を端的に表し、かつ、目を引くような「研究課題名」と**すること、「**10ポイント以上の文字**」、「**モノクロ（グレースケール）印刷**」に耐えられるようにすることは必須です。

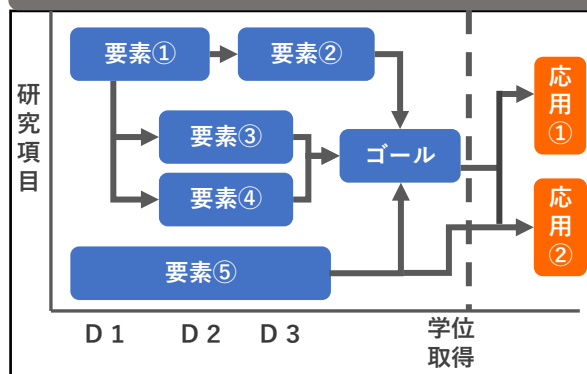
それらに加えて、分かりやすさ・見やすさのための**フォントの工夫**、研究内容の理解が進むように**概念図や表**を利用することも重要です。ただし、多用しすぎたり、単なる実験風景を貼ることなどは逆効果であり、強調したい部分・アピールしたい部分に的を絞ることがポイントです。

フォントの工夫例

はつとせり。や明言が読まれている時
でもらえる申請書にするか、がポイント
ファイル作成にあたっての注意点を
さい。「10ポイント以上の文字」
印刷に耐えられるようにする
て、分かりやすさ、見やすさのため
などを行うことも重要です。ただし

多忙を極めている中で、多数の申請書を読
申請書が読まれる時間は限られます。いか
がポイントです。まずは、申請内容ファイ
認して記載してください。「10ポイント
スケール）印刷」に耐えられるようにす
えて、分かりやすさ、見やすさのため、図
うことも重要です。ただし、多用するの
って伝えたいことが伝わるようするべき

概念図の利用例



6. 時間がない中どうしたらいいのかわからないときに

本学**研究推進課HP**※8で配付する「**申請書作成のチェックリスト**」を活用し、チェックしながら記載しましょう。必須事項をまとめているので、それらポイントに注意して記載すると効率的に申請書が作成できます。

※8 <https://c.bureau.tohoku.ac.jp/kensui-top/3jsps/#f6>



【QRコード】

(以下参考サイト)
独立行政法人日本学術振興会 <http://www.jsps.go.jp/j-pd/>